

田舎ぐらし

地域づくり

しごと体験

# 若者の地方体験交流のご案内

2011年度版

第2のふるさとづくり

美味しい空気、きれいな水

国土交通省 都市・地域整備局地方振興課

# 募集地域一覧

国土交通省が把握した募集地域を案内するものです。

## 応募上の注意

- ここに掲載されている地域での体験に関するお問合せ、参加申込などは、各地域の担当者宛にお願いいたします。  
問い合わせ先は、募集要項にあります。
- 必ず希望する地域に連絡を取り、詳細（プログラム内容、受入期間、料金等）をご確認の上、直接ご応募下さい。

参加申込書は末尾にありますのでご利用下さい。

No.－1	北海道ニセコ町	No.－14	長野県飯田市
No.－2	北海道当麻町	No.－15	奈良県川上村
No.－3	北海道平取町	No.－16	和歌山県紀美野町
No.－4	青森県七戸町（※）	No.－17	和歌山県かつらぎ町（※）
No.－5	岩手県久慈市	No.－18	和歌山県日高川町
No.－6	宮城県栗原市	No.－19	和歌山県那智勝浦町
No.－7	群馬県桐生市	No.－20	島根県邑南町
No.－8	群馬県上野村	No.－21	山口県長門市
No.－9	新潟県長岡市	No.－22	徳島県美波町
No.－10	新潟県粟島浦村	No.－23	愛媛県西条市
No.－11	福井県大野市	No.－24	長崎県小値賀町
No.－12	福井県勝山市	No.－25	大分県大分市
No.－13	福井県若狭町	No.－26	福島県南会津町

※ No.－4（青森県七戸町）、およびNo.－17（和歌山県かつらぎ町）は指定の参加申込書でご応募下さい。

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 1 : 北海道ニセコ町 (人口: 4, 670人(H22.11末現在))

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR函館本線 ニセコ駅 札幌駅から約160分  
都市間バス 札幌から約170分

※いずれも本数が少ないので注意を

## (2) 事業実施の目的等

「さまざまなまちや人々との連携」を主旨に、全国各地から大学生を受入れ、町民・職員との交流や意見交換の中から、まちづくりのヒントや情報を得たい。

## (3) 体験の内容

- ・自主的なテーマ設定のもとでの地域調査及びまちづくりへの提言
  - ・地域イベント(神社祭りなど)への参加と協力
  - ・農作業体験
- など

## (4) 受入主体

ニセコ町

## (5) 受入期間

期間指定。詳しくはお問合せください

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 本人負担 宿泊費: 半額程度助成 食事代: 本人負担
①要件	地方での活動・地域づくりに関心があり、自主的に取り組むことができる意欲と行動力のある人
②応募締切り	お問合せください
③宿泊施設	町内宿泊施設(ペンションなど)を紹介予定
④食事形態	町からの提供なし。宿泊施設に依頼可(本人負担)
⑤その他	汚れてもいい服装。長靴を用意してください

## (7) 地域担当者から一言

ニセコ町では、町の独自事業としてインターンシップを実施しています。期間の指定など条件はありますが、意欲のある学生の来町をお待ちしています

## (8) お問い合わせ先

自治体名	ニセコ町	担当部署	企画課経営企画係
(ふりがな)	かわの みつお	TEL: 0136-44-2121	(直通)
担当者氏名	川 埜 満寿夫	FAX: 0136-44-3500	
E-mail	kikaku@town.niseko.lg.jp		
URL	http://www.town.niseko.lg.jp/		
応募宛先	〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地		

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とうまちょう

## No. 1-2 : 北海道当麻町 (人口: 7, 212人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

### (2) 事業実施の目的等

インターン生の皆さんには、広大な当麻町の各所にて、まずは様々な体験活動に取り組んでいただきます。そこで、この町の人と仕事を知り、自然や風土を感じ、それらあらゆるものとの語らいの中から、この町ならではの魅力を感じ取っていただきたいと考えています。

さらに、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、それを実現するためには何をどうすべきか、この町の生活者とは異なる視点・見方で、臆することなく率直な提言をいただき、今後の新たなまちづくりの一案とさせていただきます。また、皆さんにとって、この当麻町が第2の故郷となるような人と人との関係が生まれ、それにより互いが刺激を受け、または癒され、その交流が研修終了後も継続されることで再び双方を高めていく、そのきっかけとなることを念願しています。

### (3) 体験の内容

農業体験……北海道一の米産地であるとともに、施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、作物の栽培から出荷までの農家が行う一連の作業を行います。

福祉体験……国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する(福)当麻かたるべの森の知的障害者授産施設にて、補助スタッフとして利用者の支援に当たるとともに、22haの面積を有する同法人所有の森「かたるべの森」の整備作業及び事業運営を行います。

資源調査……上記体験分野をはじめ、町内にあるもの全てを対象として、町職員と一緒に資源調査を行い、その利活用方法についても検討します。なお、この調査から検討、さらには評価に至る過程の中で、出来る限りたくさんの関係者と語らえる場を設ける予定ですが、それと絡めた体験活動を臨機応変に設定したいと考えています。

地域行事参画……地域で行われる大小行事のスタッフとして、その運営に当たってもらいます。

体験報告会……幅広く町民に参集願ひ、体験調査活動の報告会を行います。

### (4) 受入主体

当麻町

### (5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までか、8月上旬から8月下旬までの3週間から4週間で調整

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代：自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生で、生産活動としての農業をはじめ、グリーンツーリズムや農の福祉力等、農業や自然環境を生かした地域づくりに関心があり、農作業等の労働を苦にしない、積極的に地域に入っていける健康で明るい方。募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月24日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願ひます。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	自己負担はなし
⑤その他	受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、電話、FAX、メールで担当者までお問い合わせください。また、ご希望の方には、当麻町と体験内容に関わる簡単なリーフレット等を送付しますので、お気軽に連絡願ひます。

### (7) 地域担当者から一言

大きな自治体ではかなわない変革が、小回りのきく小さなまちでは可能な場合があります。皆さんの吹き込む新しい風が、大雪山の麓に広がるこの町を、さらにより良い方向へ運んでくれることを期待しています。また、皆さんにとっても長い滞在日数を費やすだけの意味合いを持つ、価値あるターニングポイントにこの交流がなるよう、誠意ある対応を心がけるつもりです。当麻町は開拓の鍬が下ろされ高々120年、皆さんと新しい歴史を創っていけたらと思います。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	はやし けんじ	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	林 憲 治	FAX	: 0166-84-4125
E-mail	: hayashi-k@town. tohma. hokkaido. jp		
URL	: http://town. tohma. hokkaido. jp		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川群当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

びらとりちょう

No. — 3 : 北海道平取町 (人口 : 5, 654人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 北海道 日高線 富川駅下車 道南バス 平取町役場前バス停  
 所要時間 富川駅からバスで20分

### (2) 事業実施の目的等

- ・ 田舎生活の楽しさを実感してもらう。
- ・ 外からの視点と若者の感性で、町や人の良さと悪さを発見して教えてもらいたい。
- ・ 体験を通して、今後の生活において町のPR役となってもらう。
- ・ 町の特産や人材の活用法などについて考えてもらう。

### (3) 体験の内容

- ・ 農業体験 (トマト収穫など)
- ・ アイヌ文化体験 (北海道とアイヌ民族についての歴史研修)
- ・ 地域イベント体験 (義経例大祭・アイヌ民族伝統儀式)
- ・ 地元観光産業での営業体験

### (4) 受入主体

平取町

### (5) 受入期間

8月 上旬 ~ 8月 下旬  
 14日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 (新千歳空港からは送迎あり) 宿泊費：なし 食事代：なし (但し、一部自己負担になることがあります)
①要件	20歳以上の大学生・大学院生で、地域おこしや町づくりに興味があり、地域の人と積極的に交流ができる元気で明るい方
②応募締切り	7月8日 (金) 必着
③宿泊施設	民泊 (ホームステイ)
④食事形態	宿泊先が提供。体験メニューの都合で、弁当など一部自己負担の場合もあり。
⑤その他	作業が出来る服装を用意。

### (7) 地域担当者から一言

夏の北海道は世界有数の過ごしやすい風土です。田舎を体験し、町の人たちと楽しくふれあい、様々な新しい発見をして貴重な経験をしてもらいたいです。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	平取町	担当部署	まちづくり課 企画係
(ふりがな)	みうら あきのり	TEL :	01457-2-2222 (直通)
担当者氏名	三浦 明德	FAX :	01457-2-2277
E-mail :	kikaku2007@town.biratori.hokkaido.jp		
URL :	http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/		
応募宛先	〒055-0192	北海道沙流郡平取町本町28番地 平取町役場 まちづくり課	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 4 : <sup>しちのへまち</sup>青森県七戸町 (人口: 17,881人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR東北新幹線 七戸十和田駅 下車 車で10分

### (2) 事業実施の目的等

恒例となっている事業の一つ七戸町かだれ塾2011(青森県内小学校5・6年生対象の田舎体験型イベント事業)を支援してもらいサポート隊を募集します。農家や参加児童の援助をしていただく一方、子供たちや地域青年との交流を楽しみ、更に地域の良さ温かさを実感してもらいたいと思います。そして「また行こう七戸町!」と言ってもらえるようなフレンドリーな間柄になることを目的とします。

### (3) 体験の内容(予定)

7/27 七戸十和田駅13時集合 面接&事前研修  
7/28 入村式・大坪川ラフティング・森林探検(秘密基地づくり)・バーベキュー・キャンプファイヤー  
7/29 どじょうすくい・ドラム缶風呂・牧場体験・巣箱づくり  
7/30 農家お手伝い・かだれ奉仕作業・離村式・17時解散

### (4) 受入主体

### (5) 受入期間

七戸町かだれ田舎体験協議会

7月27日(水)～7月30日(土)

4日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費: 自己負担 宿泊費: 無料 食事代: 無料
①要件	男性3名女性3名程度 子どもと接することが好きな大学生。別紙申込書
②応募締め切り	6月末(応募多数の場合、書類審査。期日前に締め切ることがあります)
③宿泊施設	宿泊交流施設 かだれ天間林(ホームページ参照) 談話室(囲炉裏付)・大型厨房・客室2部屋・浴室・シャワー室・冷房完備。及びファームステイ
④食事形態	自己負担なし。共同調理等
⑤その他	在学証明書・健康保険証 (期間中、到着から解散までは傷害保険に協議会負担で加入します)

### (7) 地域担当者から一言

七戸町かだれ田舎体験協議会のホームページ必見!「七戸町かだれ塾2010」のとっても楽しそうな様子が出ています。農家の方々はこの時期農繁期に当たるので、子ども達をサポートしてくれると本当に助かります。会員40名大歓迎です。七戸町の農家のみなさんには癒されますよ!何よりみんな楽しんでグリーン・ツーリズム事業に取り組んでいます。夏休み田舎暮らし体験しませんか?そして、七戸町かだれ塾2011を一緒に企画し、参加し、成功させましょう!

### (8) お問い合わせ先

自治体名 青森県七戸町	担当部署 農林課内 七戸町かだれ田舎体験協議会事務局
(こぼやしよしかず) 担当者氏名: 小林 義和	TEL: 0176-68-2116 (直通) FAX: 0176-68-2804
E-mail: <a href="mailto:yoshikazu-kobayashi@town.shichinohe.aomori.jp">yoshikazu-kobayashi@town.shichinohe.aomori.jp</a>	
URL: <a href="http://www.kadaretenma.com">http://www.kadaretenma.com</a>	
応募宛先 〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上131-4 七戸町役場 農林課内 七戸町かだれ田舎体験協議会	

# 参加申込書

「七戸町かだれ塾2011・サポート隊」に以下のとおり参加申込みいたします。

送付先：住所 〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上131-4

宛先：七戸町役場 農林課内 七戸町かだれ田舎体験協議会事務局 小林

E-mail：yoshikazu-kobayashi@town.shichinohe.aomori.jp

TEL：0176-68-2116 FAX：0176-68-2804

住所	〒
氏名	(ふりがな)
生年月日	
所属大学	
ー自己PRメッセージー	
ー七戸町かだれ塾2011企画に関する意見やアイデアがありましたら、お気軽にどうぞー	

※在学証明書添付願います。

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 5 : **岩手県久慈市** (人口: 38,173人(H22.11.30現在))

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

九戸 IC から車で 60 分  
 東北新幹線二戸駅から車で 70 分 (新幹線リレーバス)

(2) 事業実施の目的等

首都圏から久慈市への移住・定住の促進  
 交流機会の創出による地域活性化

(3) 体験の内容

農林漁家民泊・第一次産業体験・アウトドア・おためし居住・体験活動受入指導補助

(4) 受入主体

岩手県久慈市

(5) 受入期間

5月6日(金)～9月30日(金)の期間のうち  
 7日間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費・食事代(基本的に自炊となります)・農林漁家民泊等に係る体験指導料
①要件	大学生及び大学院生で、田舎の暮らしに興味がある方 (久慈市への移住を考えている方)
②応募締切り	原則1ヶ月前にはお問い合わせください
③宿泊施設	農林漁家民泊 公共施設(内間木ビジターセンター)
④食事形態	農家民泊では朝・昼・夕提供される予定です。 公共施設では自炊となります。
⑤その他	久慈市の事業を活用予定です。

(7) 地域担当者から一言

田舎暮らしを体験し、あなたのチカラで地域を元気にしてみませんか。

(8) お問い合わせ先

自治体名 久慈市	担当部署 産業振興部交流促進課交流促進グループ
(ふりがな) おおうちだやすゆき 担当者氏名 大内田 泰之	TEL: 0194-52-2168 (直通) FAX: 0194-52-3653
E-mail: y-ootida@city.kuji.iwate.jp	
URL: http://www.city.kuji.iwate.jp/	
応募宛先 〒028-8030 岩手県久慈市川崎町1-1 久慈市産業振興部交流促進課 若者の地方体験交流 係	



## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 6 : <sup>くりはらし</sup>宮城県栗原市 (人口：76,625人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線：くりこま高原駅下車 徒歩0分 (東京から約2時間30分)  
 高速バス：東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車徒歩0分  
 (仙台から約1時間20分)

### (2) 事業実施の目的等

栗原市では、地域資源を活用した「くりはら田園観光都市」の創造に取り組んでいます。本事業では、学生の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験したりしながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究します。  
 さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

### (3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元スタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。  
 例：農作業体験…田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験…森林や竹林等での作業体験  
 地方の暮らし体験…地方に伝わる家庭の行事体験 その他…資源調査、直売所のお手伝い等

### (4) 受入主体

・くりはら研究所 (栗原市産業経済部田園観光課)  
 ・くりはらツーリズムネットワーク

### (5) 受入期間

① 8月中旬 3泊4日  
 ② 9月中旬 3泊4日

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：参加者 宿泊費：受入主体 食事代：受入主体・一部自己負担
①要件	・大学生、大学院生 (都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人
②応募締切り	・各回1カ月前 ※各回4～8人程度を予定
③宿泊施設	・民泊 ・宿泊施設
④食事形態	・受入先で提供 ※昼食は一部自己負担あり
⑤その他	・旅行保険料は自己負担

### (7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルの約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然が豊かで、田園風景が広がる所です。広い栗原で、地方の暮らしや農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	栗原市	担当部署	くりはら研究所 (産業経済部田園観光課観光企画係)
(ふりがな)	おおば ひさき	TEL :	0228-22-1151 (直通)
担当者氏名	大場 寿樹	FAX :	0228-23-5370
E-mail : kanko@kuriharacity.jp			
URL : <a href="http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html">http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html</a>			
応募宛先	〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3 (くりこま高原駅内)		

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 7 : <sup>きりゅうし</sup> 群馬県桐生市 (人口：124,954人)

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR両毛線 桐生駅下車 徒歩10分  
東武鉄道桐生線 新桐生駅 おりひめバス(市役所前下車) 15分

## (2) 事業実施の目的等

本市では、昭和55年ごろをピークに人口が減り始め、特に20~30代の若い世代が「まちなか」から離れていることから、その対応策として都市住民との交流や移住による「まちなか居住」さらには「二地域居住」の推進に努めている。

そうした中、伝統産業である織物業の体験、豊かな自然を生かした農業の体験、伝統と文化を継承する桐生八木節まつりへの参加などの体験プログラムを通し、地域住民との交流や意見交換をする中から、「住んでみたい」と思うような、I・J・Uターンの促進策の一助となる「まちづくり」の提言をいただき、地域の活性化につなげていくことを目的として実施する。

## (3) 体験の内容

- ・桐生市の重点施策・観光施策等についての概要説明。
- ・桐生市の伝統産業である織物業の体験。
- ・桐生市の各地域の特性を活かした農業等の体験。
- ・桐生市の市民活動団体や地元大学生との交流。
- ・桐生八木節まつりの手伝いと参加。
- ・桐生市の体験施設や観光施設等での交流体験(参加学生の意見を取り入れて決定します。)

## (4) 受入主体

桐生市地域づくりインターン事業実行委員会

## (5) 受入期間

8月上旬から中旬の2週間程度  
※学生と相談のうえ、日程を決定

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費および食事代：原則的自己負担なし
①要件	20歳以上の大学生および大学院生希望(3大都市圏以外に居住でも可)。 市街地と田舎が共存する「まちなか」である桐生市に興味があり、自然・伝統・文化を継承しながら、地域の活性化を図るとともに、I・J・Uターンの促進に関心のある人。
②応募締切り	6月15日(水)必着 別途の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載のうえ、担当者まで郵送にて申込願います。
③宿泊施設	農家民泊、お試し暮らし住宅、民泊など
④食事形態	朝食・夕食は原則宿泊受入先で用意。昼食は原則実施主体で用意。
⑤その他	作業ができる服装、シュラフ(寝袋)を用意してください。 体験に入る前に東京(予定)でオリエンテーションを実施する予定です。

## (7) 地域担当者から一言

懐かしさと新しさが交差するまち、織都「きりゅう」。「まちなか」にあって、すぐ山や川がある自然豊かなまちを、都市の人たちに知ってもらいたい。地域の自然、生活、文化等を「体験」するなかで、桐生の良さを感じてもらい、「住んでみたい」と思うまちづくりのための提言を是非いただきたい。お願いいたします。

## (8) お問い合わせ先

自治体名	桐生市	担当部署	産業経済部観光交流課交流促進係
(ふりがな)	あらい やすよ	TEL	: 0277-46-1111 (内線 367)
担当者氏名	新井 八寿代	FAX	: 0277-40-1283
E-mail	: kanko@city.kiryu.gunma.jp		
URL	: http://www.city.kiryu.gunma.jp		
応募宛先	〒376-8501 群馬県桐生市織姫町1番1号「桐生市役所観光交流課 地域づくりインターン担当あて」		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

うえのむら  
**No. — 8 : 群馬県上野村 (人口 : 1, 374人)**

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

私鉄上信電鉄線 下仁田駅下車 上野村乗合タクシー ふれあい館下車

(2) 事業実施の目的等

今後の日本を担う若者に上野村を知っていただき、上野村のファンや応援団となっていただくほか、当村住民が、若者との交流を通して日頃気づいていない地域の良さや悪い面に気づき、地域の今後のあり方を再考するきっかけ作りとしたい。

(3) 体験の内容

村内で開催される各種イベント等への参加及び手伝い  
 農業体験、福祉・保育体験 など

(4) 受入主体

上野村

(5) 受入期間

9月 2日(金) ~ 9月22日(木)  
 21日間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担なし 食事代：自己負担なし
①要件	農山村での田舎暮らしや地域活動等に興味のある方・やる気のある方
②応募締切り	平成23年7月5日(火) 必着 別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記入の上、担当者まで郵送(又はメール：メールの場合は事前にその旨連絡ください)をお願いします。
③宿泊施設	山のふるさと合宿「かじかの里学園」及び民泊
④食事形態	朝食・夕食は受入先で提供、昼食は弁当又は村内の指定飲食店にて提供
⑤その他	農作業等が出来る服装及び長靴の用意をお願いします。

(7) 地域担当者から一言

当村は、過疎からの脱却のため、若い人の受入れや定住化に積極的に取り組んでいます。そんな当村の状況や頑張っている姿を体感していただくとともに、村での生活を通して地域の住民と交流を深め、上野村の活性化のために頑張っていただけの方をお待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名	上野村	担当部署	事業部 企画財政課 企画係
(ふりがな)	たかせ じゅんいち	TEL :	0274-59-2111 (内線) 39
担当者氏名	高瀬 淳一	FAX :	0274-59-2470
E-mail :	takase-j@vill.ueno.gunma.jp		
URL :	http://www.uenomura.ne.jp		
応募宛先	〒370-1614 群馬県多野郡上野村大字川和11番地		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 9 : <sup>ながおかし</sup>新潟県長岡市 (人口 : 283,285人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

上越新幹線で1時間30分程度、長岡駅下車、長岡駅から現地までは受入農家により異なります。

(2) 事業実施の目的等

ながおか援農システム「大地まるごと学」は、農業ってどんな感じ?という初心者の方から、将来的には就農したい!という本格的な方のニーズにお答えするため、忙しい農家さんのお手伝いをしながら、体験・学習をしていただくものです。

そのことにより、農繁期における農家の人手不足解消、農業への理解を深めていただくことで、消費者交流や就農・定住人口の増加を狙います。

(3) 体験の内容

長岡市内の農家において、水稻、野菜などの園芸、畜産、養鯉などの作業のお手伝いをさせていただきます。

(4) 受入主体

長岡市

(5) 受入期間

農家により異なります。  
(詳しくは大地まるごと学HPへ)

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	傷害保険未加入の場合、ボランティア保険代280円が自己負担となります。交通費、宿泊費、飲食代について、全て自己負担です。ただし、長岡駅から各農家までの交通費、昼食等を受入農家のご好意により、用意していただける場合があります。
①要件	農業に興味をお持ちの方、一生懸命農作業のお手伝いをしてくださる方
②応募締切り	受入農家により異なります。(詳しくは大地まるごと学HPへ)
③宿泊施設	基本的にはご自身でご用意ください。受入農家により、宿泊可能な場合もあります。
④食事形態	受入農家により異なります。(詳しくは大地まるごと学HPへ)
⑤その他	申込みは随時HPから受け付けています。お問合せは電話、FAX、メールで受け付けています。お気軽に御連絡ください。

(7) 地域担当者から一言

自家菜園をしたい方、将来は農業に関する職に就きたい方などから、知識を得る場として大変ご好評をいただいています。

通常、行政が行う農作業体験イベントは参加料が必要ですが、農作業のお手伝いをいただくことが前提のため、参加料が不要となります。

農業に暇はありませんのでお客様扱いはできませんが、温かい心で迎えてくれる田舎の農家さんと交流を楽しみ、農業に触れてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	長岡市	担当部署	農林部農政課農村政策係
(ふりがな)	やまだ かおり	TEL :	0258-39-2223 (直通)
担当者氏名	山田 香織	FAX :	0258-39-2284
E-mail :	nousei@city.nagaoka.lg.jp		
URL :	http://www.nagaoka-volaba.jp/		
応募宛先	〒940-8501 長岡市役所 農政課 (大地まるごと学事務局) 宛		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

あわしまうらむら

No. - 10 : 新潟県粟島浦村 (人口 : 355人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅～(タクシー(乗合タクシー)～岩船港 15分  
岩船港～(粟島汽船)～粟島港 高速船 55分 (普通船 90分)

### (2) 事業実施の目的等

- ・都会の若者に、粟島の暮らしを体験してほしい。
- ・都会の若者の、「粟島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・将来的には、可能であれば、都会と粟島の橋渡しの役割を担ってほしい。  
(橋渡し=家族・親戚・友人・知人に紹介、遊びに来てもらう、一緒に遊びに来る、など)

### (3) 体験の内容

- ・民宿での接客体験
- ・島のばばとの農作業体験
- ・漁師さんと漁業体験
- ・地域活性化のお手伝い など

### (4) 受入主体

粟島ドリームランド協議会

### (5) 受入期間

7月下旬～ 8月下旬  
のうちの14日間程度を予定

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：船賃 3,660円～7,380円 (普通船(片道) 1,830円 高速船(片道) 3,690円) 宿泊費：0円 食事代：0円
①要件	都市に暮らす若者
②応募締切り	7月中旬頃(参加希望者とは、順次、連絡を取っていきます)
③宿泊施設	ホームステイ(希望があれば、キャンプも可)
④食事形態	受入先にて提供して頂きます。(キャンプの場合は自炊)
⑤その他	食費の自己負担はありません。

### (7) 地域担当者から一言

粟島は、お米以外はほとんど自給自足。お米も、物々交換で賄ってしまえる島です。魚も野菜も旬のものを食べるからうまい！都会の暮らしとは大違いな粟島の暮らし。若いうちに体感できるなんてラッキーです！ぜひ、体で感じて、感じたままを伝えてください。多くの方の問い合わせ、お待ちしております。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 粟島浦村	担当部署 総務課 企画係
(ふりがな) ほんぼ じゅんいち 担当者氏名 本保 準一	TEL : 0254-55-2111 (直通) FAX : 0254-55-2159
E-mail : project@vill.awashimaura.lg.jp	
URL : http://www.vill.awashimaura.lg.jp/	
応募宛先 〒958-0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11	

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 1 1 : <sup>おおのし</sup> 福井県大野市 (人口 : 3 7, 2 4 9 人 (H23. 2. 1 現在))

## (1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R北陸線 福井駅下車 ⇒ J R越美北線 越前大野駅下車 (60分)

## (2) 事業実施の目的等

農村において、地域の家庭（農家）に滞在しながら、従事されているお仕事をお手伝（ボランティア）していただき、田舎暮らしや様々な職業に興味や理解を深めていただくことを目標の一つとしています。

## (3) 体験の内容

『ふるさとワークステイ』  
特別な体験内容はありません。普段の農家の生活の中で必要なお手伝いをしていただきます。例えば、農作物の収穫や地域イベントのお手伝い。冬には雪かきのお手伝いもあります。お手伝いの内容は滞在する農家によって異なります。  
例) 特産の里芋やネギの植え付け・収穫・出荷のお手伝い、田植え作業の補助、地域のお祭りのお手伝い、環境教育補助、古民家の清掃、作業小屋建築、雪かき

## (4) 受入主体

奥越前まんまるサイト  
(<http://www.okuetu-manmaru.com/index.htm>)

## (5) 受入期間

時期：通年  
期間：2泊以上（内容によるので要相談）

## (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担、 宿泊費：1泊3,500円～（食事(朝・夕)代含む） 体験内容によっては宿泊費・食事代、その他費用がかかりますので、下記にお問い合わせください。
①要件	原則として18歳以上の方
②応募締切り	参加したい日の2週間前まで
③宿泊施設	農家若しくは研修館
④食事形態	宿泊農家先での食事か、自炊
⑤その他	

## (7) 地域担当者から一言

一年を通じて、大野の自然や人の魅力をたっぷり活かした体験メニューを用意しています。受入農家さんと仲良くなって、この事業とは別に、それぞれで交流を進められている参加者もあり、大変好評をいただいています。体験内容や滞在期間は相談に応じます。意欲をもって来られる方であれば、未経験者大歓迎です。ぜひ参加いただき、大野の自然と人情に触れてみませんか。

## (8) お問い合わせ先

自治体名 大野市	担当部署 一般財団法人 越前おおの農林楽舎
(ふりがな) くぼ やすひろ 担当者氏名 久保 康博	TEL : 0779-66-1141 (直通) FAX : 0779-66-1141
E-mail : <a href="mailto:info@ono-gakusya.jp">info@ono-gakusya.jp</a>	
URL : <a href="http://www.ono-gakusya.jp/">http://www.ono-gakusya.jp/</a>	
応募宛先 〒912-0084 福井県大野市天神町1番1号 大野市役所内	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かつやまし

No. 12 : 福井県勝山市 (人口 : 26, 255人(H22.12末現在))

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR福井駅からえちぜん鉄道(かつやま・永平寺線)に乗って約54分の終点勝山駅までお越し下さい

### (2) 事業実施の目的等

福井県の農山漁村に滞在し、繁忙期の農作業等のお手伝いをして頂き、夜は農家民泊等をして頂きます。期間は1泊以上です。(日帰りのコースはありません)。様々な体験活動をする中で、田舎暮らしや勝山市に興味や理解を深めていただくと共に、地域住民との係わりを持って頂き地域の活性化へ結びつける。また、農繁期における農家の人手不足解消、農業への理解を深めていただくことで、就農・定住・交流人口の増加を狙います。また自然豊かな勝山市に来て頂き、参加者の心のリフレッシュを図って頂くことも目的の一つです。

### (3) 体験の内容

- ・ 牧場体験『ジャージー牛のお世話』
- ・ 農家のお仕事「ねぎ」「里芋」「大豆」「稲」「麦」「そば」「こだわりのにんにく」「ミディトマト」「その他色々な野菜」のお手伝い
- ・ 国内最大級の恐竜博物館に隣接する公園内での様々な作業のお手伝い
- ・ 白山山麓伝統古民家修復
- ・ 豪雪体験
- ・ 耕作放棄地の再生
- ・ 登山道の整備、外来種対策

≪夜は農家に民泊等をして頂きます≫

### (4) 受入主体

勝山市、勝山市内農家 等

### (5) 受入期間

4月10日(日)～3月14日(水)の期間で、1泊2日から1週間程度の滞在期間(要相談)

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 保険料：280円 食事代：無料(ただし、昼食のみ支払って頂く場合あり)
①要件	18歳以上の健康な方。(高校生不可) 農家のお手伝いです。やる気のある方の参加をお願いします。
②応募締切り	希望日の1週間前までにご連絡ください。
③宿泊施設	受入農家での民泊、農家民宿 等
④食事形態	受入農家では朝・昼・夕を提供。(但し、昼食は自己負担の場合あり) 食事内容は家族と同じ。自炊の場合もあり。申し込み時に確認してください。
⑤その他	詳細は、市ホームページをご覧ください。 参加申込書等はHPからダウンロードできます。詳細については下記担当課までご連絡ください。

### (7) 地域担当者から一言

自然豊かな福井県勝山市に農業技術の習得に、田舎暮らしの体験に、そして新しい自分探しに是非お越し下さい。お客様扱いはできませんが、あったかい心で迎えてくれる田舎の農家さんと交流を楽しんで頂けると思います。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	勝山市	担当部署	農林部 農業政策課 農業振興グループ
(ふりがな)	もりいし よしひろ	TEL :	0779-88-8106 (直通)
担当者氏名	森石 慶裕	FAX :	0779-88-1118
E-mail :	nougyou@city.katsuyama.lg.jp		
URL :	http://www.city.katsuyama.fukui.jp/docs/ (勝山市HP) http://www.city.katsuyama.fukui.jp/inaka/wakingu%20hp.htm (田舎暮らし体験HP)		
応募宛先	〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1番1号		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 13 : <sup>わかさちょう</sup> 福井県若狭町 (人口 : 16,559人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR小浜線 上中駅下車  
JRバス若江線 上中駅下車

### (2) 事業実施の目的等

都市からの若者の就農・定住を促進し、集落を活性化することを大きな目標としています。

### (3) 体験の内容

- ・インターンシップ事業 (短期間の農業就業体験)
- ・体験学習事業 (農業体験)

### (4) 受入主体

農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎

### (5) 受入期間

基本 通年 要問合せ

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：無料 ※体験学習事業は上記の費用は全て自己負担
①要件	やる気と元気がある若者
②応募締切り	申込書・方法等があるので、その都度問合せ願います。
③宿泊施設	公共施設 (研修棟での共同生活)
④食事形態	公共施設内で共同自炊
⑤その他	農作業可能な服装を用意

### (7) 地域担当者から一言

とにかく農業がしたい！そんなあなたにお勧めな町です。  
やる気と元気がある若者の方をお待ちしています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	若狭町	担当部署	産業課 特産振興販売室
(ふりがな)	はらだ だいすけ	TEL :	0770-45-9102 (直通)
担当者氏名	原田 太輔	FAX :	0770-45-9119
E-mail : sangyo@town.fukui-wakasa.lg.jp			
URL : http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp			
応募宛先	〒919-1522	福井県三方上中郡若狭町末野 (若狭町農村総合公園) 農業生産法人有限会社 かみなか農楽舎	



## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 1 4 : <sup>いいだし</sup> 長野県飯田市 (人口 : 1 0 5 , 2 8 5 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R 天龍峡駅

### (2) 事業実施の目的等

飯田市のモデル的かつ自立的な取組を知ってもらい、当地域の豊富な体験内容から地方への理解を深める機会としていただきたい。また、体験や交流の中から大学生等多くの若者から意見をいただき、これからの地域経営に生かしていきたいと考えています。

### (3) 体験の内容

- ・ 3泊4日程度のカリキュラムにより、地方圏の状況について地元の自治体・事業者・市民等から現地視察等を含むレクチャー及び意見交換・交流を行うもの。また、地元農家に宿泊等し、中山間地域の暮らし等を体感するもの。
- ・ 現地視察等を含むレクチャーのテーマは「10万地方都市の経営戦略」であり、定住自立圏構想先行実施団体(総務省)の取組、全国13都市の一つとして選定されている環境モデル都市(内閣府)の取組、人形劇フェスタや伊那谷文化芸術祭をはじめとする多彩な市民文化活動、南信州観光公社がランドオペレータとなり実施する体験教育旅行、都市住民と農村のパートナーシップによる飯田版ワーキングホリデー等について、現地のキーマンとの意見交換及び参加者同士の交流から地方圏のあり方、さらには国のカタチについて等を考えあう。
- ・ 農家宿泊等では、中山間地域の農業・農村の実態を直接見聞きすることができる。

### (4) 受入主体

飯田市・南信州観光公社

### (5) 受入期間

8月上旬～9月中旬  
3泊4日(応相談)

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：自己負担(詳細は、下記までお問い合わせください。) 食事代：自己負担(詳細は、下記までお問い合わせください。)
①要件	地方都市の政策について関心がある大学生・大学院生・教員等をお待ちしています。
②応募締切り	指定の参加申込書に記入の上、担当者までFAX、メール願います。 (詳細は、下記までお問い合わせください。)
③宿泊施設	市宿泊施設、農家、市内ホテル
④食事形態	郷土料理、共同調理、農家レストラン、市内食事処など
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

当地域は全国でも先進的な政策や、独自の文化に裏打ちされた地域活動など、地域政策分野における学びや体験交流の宝庫と自負しています。ぜひ南信州・飯田の地へお越し下さい。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	飯田市	担当部署	企画部企画課
(ふりがな)	くしはら いちほ	TEL :	0265-22-5910 (直通)
担当者氏名	串原 一保	FAX :	0265-53-4511
E-mail :	ikikaku@city.iida.nagano.jp		
URL :	http://www.city.iida.lg.jp/		
応募宛先	〒395-8501 長野県飯田市大久保町 2534 飯田市役所 企画部企画課		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

かわかみむら  
**No. - 15 : 奈良県川上村** (人口 : 1, 850人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

近鉄吉野線 大和上市駅 下車 奈良交通バス30分 川上村役場前 下車

(2) 事業実施の目的等

山村での生活体験のない若者の体験機会を提供し、外部から見た川上村の取組みについて提案・提言をしていただき、「水源地のむらづくり」に活かしていきたい。

(3) 体験の内容

- ・ 林業体験 (間伐や樽丸作り等、吉野林業の歴史を学ぶ)
- ・ 地域のイベントへの参加・手伝い (盆踊り等)
- ・ 森と水の源流館 臨時スタッフ (環境教育について学ぶ)
- ・ 達っちゃんクラブ 臨時スタッフ (自然体験型イベントの準備・実施)

(4) 受入主体

川上村

(5) 受入期間

8月初旬 ~ 8月中旬  
14日間

(6) 応募上の注意

<b>※費用負担</b>	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1日500円 食事代：基本的には自己負担 (昼食は弁当を準備します)
①要件	水源地のむらづくり交流ネットワークに興味のある方
②応募締切り	7月14日(木) (定員をこえた場合は審査を行いますので、20日(水)を予定に連絡します)
③宿泊施設	水源地の森交流施設 交流滞在の家
④食事形態	基本的には自己負担 (昼食は弁当を準備します)
⑤その他	詳細は担当者にお問い合わせ下さい。 川上村地域づくりインターンHPもご覧ください。

(7) 地域担当者から一言

川上村は奈良県の南部に位置し、日本三大人工美林の一つ吉野杉で有名な村です。そんな山間のむらではありますが、水源地のむらづくりや林業体験、芸術体験等、都会では体験できない内容を計画しています。私たちと一緒に新しい地域づくりに取り組んでみませんか？

(8) お問い合わせ先

自治体名 川上村	担当部署 水源地の村づくり課
(ふりがな) おおまえ たくみ はせ よしたか 担当者氏名 大前 卓己 長谷 良敬	TEL : 0746-52-0111 (内線) 21 FAX : 0746-52-0345
E-mail : <a href="mailto:suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp">suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp</a>	
URL : <a href="http://www.geocities.jp/intern_vill_kawakami_nara/index.html">http://www.geocities.jp/intern_vill_kawakami_nara/index.html</a> (インターンHP)	
応募宛先 〒639-3603 奈良県吉野郡川上村迫 1335-7	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

### No. - 16 : <sup>きみのちょう</sup>和歌山県紀美野町 (人口: 10,766人)

#### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR きのくに線海南駅から大十オレンジバス終点登山口下車、コミバスで紀美野町国吉診療所前へ海南駅から登山口まで約30分 登山口から国吉診療所前まで26分

#### (2) 事業実施の目的等

過疎化・高齢化が進む紀美野町が元気になるように  
里山体験・交流施設「セミナーハウス未来塾」が活気づくように  
一緒に汗をかきながらアイデアを注入してくれる皆さんを募集します。

#### (3) 体験の内容

①セミナーハウス未来塾の仕事全般 ②セミナーハウス未来塾周辺の町有林の保全  
③自然体験、野外活動などの企画、サービス提供 ④レクリエーションプログラムの企画、提供  
⑤農村、里山の情報発信 ⑥エリアツーリズムインフォメーションの整備 など

#### (4) 受入主体

紀美野町セミナーハウス未来塾  
(<http://www.kimino.jp/miraijuku/>)

#### (5) 受入期間

7月1日(金)～11月30日(水)  
153日間 ※期間については要相談

#### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：無料 食事代：食事形態の欄参照
①要件	○仲間と話し合ってアイデアを出し一緒に行動できる人 ○健康で自然が好きな人 (できれば運転免許を持っている人)
②応募締切り	滞在開始希望日の3週間前まで 指定の参加申込書に必要事項記入の上、受入団体まで郵送して下さい。
③宿泊施設	紀美野町セミナーハウス未来塾
④食事形態	滞在期間中は賄料理を提供 (提供できない場合は当館規定金額を支払います。自炊可)
⑤その他	長期間(10～15日以上)の滞在者を希望します。

#### (7) 地域担当者から一言

大自然の山里で心を込めた精一杯の接客体験と  
自らのアイデアで過疎化の地域を活性化する体験が得られますよ！

#### (8) お問い合わせ先

自治体名 紀美野町	担当部署 紀美野町セミナーハウス未来塾
(ふりがな) ひらい つぐじ 担当者氏名 平井 二嗣	TEL : 073-498-0521 (直通) FAX : 073-498-0531
E-mail : <a href="mailto:miraijuku@kimino.jp">miraijuku@kimino.jp</a>	
URL : <a href="http://www.kimino.jp/miraijuku/">http://www.kimino.jp/miraijuku/</a>	
応募宛先 〒640-1363 和歌山県海草郡紀美野町田25番地 紀美野町セミナーハウス未来塾(平井宛)	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. 17 : 和歌山県かつらぎ町 (人口: 18,879人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR和歌山線—笠田駅下車(大阪市内より120分程度)—四郷地区まで車で15分程度

### (2) 事業実施の目的等

- ・田舎暮らしを体験して欲しい。
- ・山村集落の機能維持や地域活性化のため活動して欲しい。
- ・柿、串柿生産活動ほかの手伝いをして欲しい。

### (3) 体験の内容

- ・農作業体験(柿の摘蓄(てきらい)、柿の収穫、串柿生産活動)、串柿まつりスタッフとしての活動ほか

### (4) 受入主体

J A紀北川上  
四郷串柿部会

### (5) 受入期間

春季 4月23日～6月30日 柿の摘蓄ほか  
秋季 9月9日～12月20日  
柿の収穫、串柿生産活動、串柿まつりスタッフほか

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：最寄りJR駅まで自己負担 (なお、最寄り駅から現地までは、受入先負担) 宿泊費：受け入れ先負担 食事代：受け入れ先負担
①要件	・大学生、大学院生希望 ・3泊4日以上活動できる学生
②応募締切り	春季 5月31日必着 / 秋季 11月18日必着 指定の参加申込書に必要事項を記入の上、担当者まで郵送、FAX、Eメールでお願いします。 ※ グループで申込をされる場合は、事前にご連絡下さい。 ※ 応募結果については、受入主体と相談して、なるべく早く連絡させて頂きます。
③宿泊施設	ホームステイ若しくは、県立紀北青少年の家(5人以上の団体の場合)ほか宿泊(送迎は、受け入れ先負担)
④食事形態	3食無償提供、若しくは、共同調理
⑤その他	農作業内容によっては、草の汁や柿渋などが付着し、脱色できないことがありますので、着色しても良い服装を持参して下さい。

### (7) 地域担当者から一言

過疎及び高齢化が進む山村集落の機能維持や地域活性化のため、また、田舎暮らし体験・農作業体験などについての意見を聞きたいと考えています。北海道や東北地方など平坦地で行う農業と違い、急傾斜地にある地域での農業生活を経験してみることは、これからの学業や将来に必ず役立つと信じています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	かつらぎ町	担当部署	産業観光課 振興係
(ふりがな) 担当者氏名	まえおか しんや 前岡 眞也	TEL : 0736-22-0300 (代表) 内線 2101、2104 FAX : 0736-22-6432	
E-mail	noushin@town.katsuragi.wakayama.jp		
URL	http://www.town.katsuragi.wakayama.jp/		
応募宛先	〒649-7192 和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2160 かつらぎ町役場産業観光課		

かつらぎ町役場産業観光課 行 (0736-22-6432)

かつらぎ町ワークステイ事業（若者の地方体験交流）参加申込書

（兼 FAX 送信票）

申込年月日	平成 年 月 日	
所属大学/学部/学年		
フリガナ		
氏名		
年齢/性別	/	
住所		
連絡先	TEL :	
	FAX :	
	Eメール:	
特に体験したい 活動内容		
体験したい期日		
最寄り駅、若しくは、活動 地までの交通手段		
自動車運転免許証 の有無		
既往症の有無について (右の無/有のどちらかを○ で囲んで下さい。)	無 / 有 ※有の場合、記入できる範囲でご記入願います。	
アレルギーの有無につい て(右の無/有のどちらかを○ で囲んで下さい。)	無 / 有 ※有の場合、記入できる範囲でご記入願います。	
	食物名	
	動物名ほか	
応募した理由など、その 他伝えておきたいことが 有りましたら、記入して下 さい。		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

ひだかがわちょう

No. — 18 : 和歌山県日高川町 (人口 : 10,962人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

- ・電車 : JR「御坊駅」まで、新大阪駅から約100分。「御坊駅」から約40分。  
(御坊南海バス日高川線「高津尾」下車。徒歩5分)
- ・車 : 大阪市内から約2時間。(近畿自動車道経由・川辺IC下車。約20分)

### (2) 事業実施の目的等

- ・関西の田舎暮らし・人気No.1の町で、地域づくりに参加しませんか？  
日高川町には、不定期で地元学生が調査や農作業の手伝いに来て、新しい視点や提案により地域活性化につながっています。多くの学生さんに新たな提案・活躍をしていただきたい。また、大学生の合宿や研修誘致の際ご活躍いただきたいと思ひます。

### (3) 体験の内容

- ・体験型観光のインストラクター補助(下駄づくり、間伐体験、農家民泊などのお手伝い)
- ・日高川町のPR(資料づくり、ホームページ・ブログの更新など)
- ・農業支援や地域行事の支援による、地域活性化の手助け(集落自治のままならない地域にて、一人暮らしの方のお手伝いなど)

### (4) 受入主体

日高川町 ゆめ倶楽部 21

### (5) 受入期間

1年中いつでも！  
(できれば1週間以上～)

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1/2補助 食事代：自己負担
①要件	特になし。 大学生及び大学院生で、田舎や人とのふれあいが好き、研究意欲が旺盛な方。
②応募締切り	特になし。随時ご応募ください。
③宿泊施設	農家民泊「風呂谷ヴィレッジ」(1泊3千円)ほか
④食事形態	朝食・夕食は自炊、または農家さんと一緒につくる。
⑤その他	作業ができる服装をご用意ください。

### (7) 地域担当者から一言

日高川町の自慢は、大阪方面からの移住者が約170名いること。そして自然体験プログラムが約60種類と豊富で、小中学生に人気です。受入団体「ゆめ倶楽部21」が、住民と役場が力を合わせて活動中。元気なおじちゃん・おばちゃんと一緒に活動しませんか？

### (8) お問合せ先

自治体名	日高川町	担当部署	ゆめ倶楽部 21 (まちみらい課内)
(ふりがな)	やました たいぞう	TEL :	0738-54-0338 (直通)
担当者氏名	山下 泰三	FAX :	0738-54-0174
E-mail :	yumeclub@town.hidakagawa.lg.jp		
URL :	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/yumeclub/ (「ゆめ倶楽部21」で検索)		
応募宛先	〒644-1122 和歌山県日高郡日高川町高津尾 718-3		

**若者の地方体験交流 募集概要**  
(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 19 : <sup>なちかつうらちょう</sup> 和歌山県那智勝浦町 (人口 : 17,602人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 紀伊勝浦駅より町営バス (1日3便) で約1時間

(2) 事業実施の目的等

都会の若者と、山里のお年寄り等との出会いの機会を設けることで、失われつつある日本古来の暮らしの価値を若者・お年寄り等がそれぞれの立場から認識し、それらの伝統を次世代に受け継いでいく気運が高まり、具体的な活動が始まる契機となることを目指す。

(3) 体験の内容

山里のお年寄り等に対する聞き取り  
山里の四季折々の百姓仕事 (農作業、伝統食作り、日用品の手作り・管理ほか)

(4) 受入主体

色川百姓養成塾

(5) 受入期間

平成23年4月～平成24年3月  
何泊でも可、半年～1年の長期滞在も可  
(相談に応じます)

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：負担なし 食事代：自己負担
①要件	山里の文化やお年寄りの知恵、伝統的な職人技など失われつつある日本古来の暮らしに関心があり、人とのコミュニケーション・共同生活・自炊ができる方
②応募締切り	滞在開始希望日の2週間前
③宿泊施設	空き家を利用した共同宿舎
④食事形態	自炊
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

かつて、自然の恵みと人間の力とを最大限に活かし循環型社会を実現していた農山村の暮らしが、急速に失われつつあります。農山村を担ってきたお百姓さんや手仕事にこだわりを持つ職人さんも、減少の一途を辿っています。

那智勝浦町色川地域で活動する「色川百姓養成塾」は、過疎地域と呼ばれるこの地から、自然と人、人と人とのたしかなつながりに根差した農山村復興を目指しています。現代の大量消費社会に疑問を持つ方、日本の原風景に興味を持つ方、ぜひ一度当地においでください。

(8) お問い合わせ先

自治体名	那智勝浦町	担当部署	観光産業課 農林係
(ふりがな)	さかぐち ひでのぶ	TEL :	0735-52-0555 (内線) 161
担当者氏名	坂口 英伸	FAX :	0735-52-3011
E-mail :	norin@town.nachikatsuura.lg.jp		
URL :	http://www.zb.ztv.ne.jp/hyakusho/		
応募宛先	〒649-5451	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字口色川86 色川百姓養成塾事務局 瀧岡	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 20 : <sup>おおなんちょう</sup> 島根県 邑南町 (人口 : 12,144人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

石見交通 矢上駅下車 徒歩10分  
 広島駅から中国浜田道経由 高速バス瑞穂IC下車 町営バス15分

### (2) 事業実施の目的等

体験調査員には、地域にどっぷりと入ってもらい、地域資源の発掘とその活用方法について、町への施策提言を行って頂きます。こうした提言などは、地域の中にどっぷりと浸かり、地域の方々との交流が必要になります。こうした体験調査員との交流により、地域が活性化していく事を目的としています。

### (3) 体験の内容

小学生のふるさと体験活動(野外活動)の手伝い  
 田舎ツーリズムツアーの企画、運営補助  
 農作業体験(稲刈り・産直市出荷の手伝い)

### (4) 受入主体

邑南町

### (5) 受入期間

7月26日(火)～8月9日(火)  
 15日間

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費、食費等は下記に問い合わせください
①要件	グリーン・ツーリズムに興味・関心のある方
②応募締切り	平成23年7月15日
③宿泊施設	農家民泊、農家民宿
④食事形態	昼食費はできれば自己負担(状況による)
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

邑南町はどこを切っても本物の田舎です！よそから来た方をよそ者扱いにしません。だって邑南町の人には人がいいから・・美味しいごはんと新鮮な食材そしてじいちゃんとかあちゃんとの会話。のんびり田舎体験をしたい人、是非邑南町へきちゃんさい。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	邑南町	担当部署	商工観光課
(ふりがな)	ひだか はじめ	TEL : 0855-95-2565	(直通)
担当者氏名	日高 始	FAX : 0855-95-0223	
E-mail :	hidaka-hajime@town.ohnan.lg.jp		
URL :	http://www.town.ohnan.lg.jp		
応募宛先	〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000番地		



## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. - 2 1 : <sup>ながとし</sup> 山口県長門市 (人口 : 3 9 , 4 6 5 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

J R山陽新幹線 新山口駅又は厚狭駅下車	J R美祢線 長門湯本駅下車
サンデンバス 長門湯本駅一俵山公民館前	2 0 分

### (2) 事業実施の目的等

都市の若者の受入や地域住民との交流等を通じて、外部の若者から見た地域評価をいただくことにより、地域活性化を図るとともに、地域の特色を活かした体験交流プログラムの開発を行なうことを目的とする。

### (3) 体験の内容

- ・ 農作業体験や集落点検調査の実施。
- ・ 公民館活動への参加。(地域住民との交流、スポーツ活動)
- ・ 温泉、旅館等での接客体験。
- ・ 地域づくりの広報宣伝活動に参加。(フリーペーパー、情報誌、ホームページ等)

### (4) 受入主体

N P O 法人 ゆうゆうグリーン俵山

### (5) 受入期間

8 月 上旬 ~ 8 月 下旬  
1 4 日間程度 (詳細は参加学生と調整)

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費 : 自己負担 受入費用 : 3 万円 (宿泊費・食事代・保険代・作業費込み)
①要件	都市と農村の交流 (グリーンツーリズム) に興味のある方
②応募締切り	平成 2 3 年 7 月 8 日 (金) 必着
③宿泊施設	温泉旅館とホームステイの併用
④食事形態	原則として、宿泊先で用意します。(費用負担は受入費用に含む)
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

受入地域となる俵山地区は、夏でも涼しく、人も自然もマイナスイオンたっぷりの昭和風情が今も残る温泉地域です。現在、N P O 法人が主体となった俵山公園を発足させ、小さな政府目指して活動中です。地域住民と一緒に考え、あなたのフレッシュな意見を求めています。  
その他、海上アルプス青海島や金子みすゞ記念館、香月泰男美術館など見所たっぷりです。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	長門市	担当部署	企画総務部 企画政策課 企画調整係
(ふりがな)	さかた まさかず	TEL :	0 8 3 7 - 2 3 - 1 1 1 6 (直通)
担当者氏名	坂田 正和	FAX :	0 8 3 7 - 2 2 - 0 1 3 5
E-mail :	chosei@city.nagato.lg.jp		
URL :	http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/ (参考) http://www.tawarayama.jp/		
応募宛先	〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 2 2 : <sup>みなみちょう</sup> 徳島県美波町 (人口 : 8, 210人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR牟岐線 日和佐駅下車 徒歩15分

### (2) 事業実施の目的等

地域づくりや地域活性化の取り組みに関心を持ち、美波町が取り組む種々の施策に参画を希望する若者を迎え入れ、地域での様々な取り組み、各種交流事業等に関わってもらうことで地域や地域住民の刺激とするほか、体験終了後は美波町のサポーターとして町や地域との良い関係を構築してもらうことを期待します。

### (3) 体験の内容

- ・地域主導の都市・地域間の交流事業への参加
- ・地域の漁業、農業体験
- ・うみがめ博物館でのうみがめ飼育の手伝い

### (4) 受入主体

美波町

### (5) 受入期間

7月下旬 ~ 8月下旬 の14日間  
※学生の方と相談し日程を決定

### (6) 応募上の注意

※費用負担	・現地までの交通費：原則美波町負担（一部各自負担の場合あり） ・食事代：「④食事形態」のとおり ・宿泊代：原則美波町負担（各自で負担していただくこともあります）
①要件	・地域づくり、観光振興に興味のある方 ・体験最終日に体験発表会及び、終了後レポートの提出（広報誌に掲載予定）
②応募締切り	平成23年6月30日（必着） ※別添募集参加申込書・小論文記入用紙に記載の上、担当まで郵送。
③宿泊施設	ホームステイ、宿泊施設（国民の宿）、美波町体験活動施設、各地区交流体験施設を予定
④食事形態	原則：朝・昼・夕食は自炊等自己負担 ※ホームステイ・国民の宿の朝夕食は提供予定。
⑤その他	・申込前に、担当までご連絡ください。 ・動きやすく、汚れてもいい服装が必要です。

### (7) 地域担当者から一言

NHK 朝の連続テレビ小説『ウェルかめ』の舞台地で、海・山・川の自然豊かな町です。そんな町の新しい地域資源を共に発見しましょう。  
不明な点等があれば事前にご連絡をください。

### (8) お問合せ先

自治体名 美波町	担当部署 総務企画課
(ふりがな) ながもと よしひこ 担当者氏名 永本 嘉彦	TEL : 0884-77-3611 (直通) FAX : 0884-77-1666
E-mail : somu@town.minami.lg.jp	
URL : <a href="http://www.town.minami.tokushima.jp/">http://www.town.minami.tokushima.jp/</a>	
応募宛先 〒779-2395 徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No. — 23 : <sup>さいじょうし</sup>愛媛県西条市 (人口 : 114,600人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 予讃線 伊予西条駅下車 瀬戸内バス 石鎚ふれあいの里前下車

### (2) 事業実施の目的等

山間部の過疎地で過ごすことで、地域の実情を体感してもらい、地域住民との交流の中で若者の視点から山村の暮らしに対する意見を聞きたい。

### (3) 体験の内容

炭焼き体験

### (4) 受入主体

石鎚ふれあいの里 大保木をよくする会

### (5) 受入期間

1月 5日(木) ~ 2月29日(水)  
上記期間のうち、7日間程度

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：1泊880円 食事代：自己負担、自炊も可能
①要件	体力があり、好奇心旺盛な人
②応募締切り	平成23年12月28日(水)までに電話にて申し込み
③宿泊施設	石鎚ふれあいの里
④食事形態	自炊可能、参加者負担にて提供も可能
⑤その他	作業着、防寒着を持参のこと。

### (7) 地域担当者から一言

山村の暮らしを体験してみませんか。都市では得られない静かさと、働くことの原点に触れることができると思います。

### (8) お問い合わせ先

自治体名 西条市	担当部署 産業経済部観光振興課観光振興係
(ふりがな) いたう としあき 担当者氏名 伊藤 敏昭	TEL : 0897-47-3575 (直通) FAX : 0897-53-6200
E-mail : ito1155@saijo-city.jp	
URL : <a href="http://www2.ocn.ne.jp/~oofuki/">http://www2.ocn.ne.jp/~oofuki/</a>	
応募宛先 〒793-0214 愛媛県西条市中奥1-25-1 石鎚ふれあいの里 TEL:0897-59-0203	

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.ー 2 4 : <sup>おぢかちょう</sup> 長崎県小値賀町 (人口 : 2, 9 1 6 人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡市博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて5時間半(23:30発 朝5:00着)  
 【長崎県佐世保市より】九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)  
 九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

### (2) 事業実施の目的等

若者(学生)が長期にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってほしいと思います。また同時に小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やU I ターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

### (3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験(稲作、イサキの夜釣り体験、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての体験・研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業との意見交換

### (4) 受入主体

小値賀町

### (5) 受入期間

8月上旬～ 9月上旬  
約1ヶ月間を予定

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：なし(町が負担) 食事代：原則自己負担。交流会費については一部負担あり 体験料：原則自己負担(町より体験料の助成あり)
①要件	島暮らしに興味がある方、第一次産業と観光の連携に興味がある方で何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方
②応募締切り	6月24日(金)必着 ※別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設)・民泊・野崎島自然学塾村など
④食事形態	・基本的に自炊(共同調理) ・民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤その他	

### (7) 地域担当者から一言

今までインターンで来た学生たちは「小値賀中毒症」になって帰って行きました。この町(島)には一度来ると病み付きになる大自然・美味しい魚や野菜、そして何より家族のようにあたたかい島民がたくさんいます。今まで出来なかったような体験を通して、あなたのフレッシュな感覚を、あすの小値賀の町づくりに活かしてみませんか!

### (8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課 自立推進班
(ふりがな)	なかの たかき	TEL :	0959-56-3111 (代表)
担当者氏名	中野 高樹	FAX :	0959-56-4185
E-mail :	nakano-takaki@ojika.net		
URL :	http://www.ojika.net		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1		

## 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おおいたし

No. - 25 : 大分県大分市 (人口 : 475,026人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

[空]東京(羽田)・大阪(伊丹)・名古屋(中部国際)→大分空港。市中心部までエアライナーで60分  
[電車]JR大分駅下車。日豊本線・博多から約2時間。豊肥本線・熊本から約3時間。久大本線・久留米から約2時間20分[車]大分自動車道大分IC下車市中心部まで約10分  
大分市役所から受入れ地区まで車で約50分

### (2) 事業実施の目的等

援農ボランティアをとおして、地域農業への理解を深めてもらう。

### (3) 体験の内容

施設園芸作物の収穫・調整作業。椎茸のホダ木立てやコマ打ち等作業。  
畜産農家での作業。その他の作業。

### (4) 受入主体

野津原のびるの会(認定農業者グループ)

### (5) 受入期間

2月～3月にかけての1週間程度

### (6) 応募上の注意

※費用負担	交通費：自己負担。宿泊費：原則無料。食事代：自炊分は自己負担 ※ボランティア保険は、受け入れ側で負担
①要件	3大都市圏居住の大学生グループ(研究室やサークル)で3～10名程度 農業や農村(中山間地域)に興味のある健康な人
②応募締切り	平成23年11月30日(水)
③宿泊施設	受入れ農家 及び 公共宿泊施設(旧中学校施設)
④食事形態	受入れ農家では農家が用意。公共施設では自炊
⑤その他	JR大分駅から現地まで送迎あります。 但し、希望多数の場合は、受け入れ出来ない場合があります。

### (7) 地域担当者から一言

市内農村部では、年々、高齢化や担い手不足が深刻化しており、良好な農業環境を維持していくことが困難な状況になりつつあります。そのような中、農村での一日を体験してもらい、農業者との家族的な付き合いや協働作業等を通じ、農業・農村の現実的な魅力と厳しさ、地域農産品への愛着など、日々の暮らしにない新たな発見と感動が広まり、多くの参加者にとって「第二のふるさと」になることを期待しています。  
ありのままの農村を肌で感じていただき、体験していただくとともに、是非、新鮮な意見や発想をいただければと考えています。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	大分市	担当部署	商工農政部 産業振興課 地域産業育成係
(ふりがな)	はら のりあき	TEL :	097(537)7025(直通)
担当者氏名	原 範明	FAX :	097(533)6117
E-mail : sangyosinko2@city.oita.oita.jp			
URL : <a href="http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1205892953174/index.html">http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1205892953174/index.html</a>			
応募宛先 〒870-8504 大分市 荷揚町2番31号 大分市役所 産業振興課 まるごと田舎ぐらし体験事業担当者 宛			

**若者の地方体験交流 募集概要**  
 (費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

みなみあいづまち  
**No.ー 26 : 福島県南会津町** (人口 : 18,457人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

会津鬼怒川線 会津田島駅 バス30分

(2) 事業実施の目的等

地域ブランド「南郷トマト」の産地です、生産から選果出荷まで体験をして頂き、農村と都市との補完について考えてください。  
 また、新規就農の施策について幅広い見識により評価頂きたいと思っております。併せて就農に係る町・JA・生産組合等の充実した支援内容についてPRしてください。  
 地域住民の方々との交流やふれあいの場が持て、今後南会津町と繋がりが持てる、そんな体験期間となるような企画を考えておりますので、この機会に是非南会津町にお越しください。



(3) 体験の内容 (予定)

農業体験 (南郷トマト栽培全般) 民宿のせがれ体験 集落支援員の手伝い 直売所体験  
 希望する名所巡り

(4) 受入主体

南会津町

(5) 受入期間

8月下旬～10月上旬のうち7日から12日程度

(6) 応募上の注意

※費用負担 ○現地までの交通費：自己負担 ○保険料：自己負担  
 ●宿泊費：無料 ●食事代：無料

①要件 2名程度 別紙申込書  
 ②応募締め切り 8月中旬 (応募多数の場合、書類審査。応募状況により締め切ります。)  
 ③宿泊施設 民宿  
 ④食事形態 自己負担なし  
 ⑤その他 在学証明書・健康保険証



(7) 地域担当者から一言

南郷トマトは、生産50年目の節目を迎えました。  
 農村の果たしている役割りを肌で感じてください。

(8) お問い合わせ先

自治体名 福島県 南会津町	担当部署 南郷総合支所 振興課
(たちばな かすあき)	TEL : 0241-72-2113 (直通)
担当者氏名 : 橘 一明	FAX : 0241-72-2002
E-mail : <a href="mailto:kazuaki-t@minamiaizu.org">kazuaki-t@minamiaizu.org</a>	
URL : <a href="http://www.minamiaizu.org/">http://www.minamiaizu.org/</a>	
応募宛先 〒967-0611	
福島県南会津郡南会津町山口字村上864番地	

# 体験希望者から希望市町村へ提出する様式

平成23年 月 日 現在

## 若者の地方体験交流 参加申込書

- ふりがな
1. お名前： ( 男・女 )
2. 生年月日：西暦 年 月 日 (出身地： )  
\* 都道府県で記入

写真  
無帽・上半身のもの  
(写真の裏に氏名を明記)

3. (大学、大学院、専門学校等に在学の場合に記入)  
学校、学部名： ( ) 年

研究テーマ等： \_\_\_\_\_

- \* 学部、学科、専攻などを明記してください (在学中の方は学年も明記してください)。  
\* 卒論または現在研究中のテーマを記入してください。

4. 資格・特技・趣味など (選考の参考になりますので、体験内容に係るものは必ず記入してください。)

## 5. 自己PR

連絡先：選考などに関し募集地域から連絡を行う場合があります。

(『Eメール(携帯)』で、ドメイン指定受信を設定している場合、希望する独自募集地域からのメールが受信できるようあらかじめ設定をお願いいたします。)

(住所)  
〒 \_\_\_\_\_

電話(自宅)： \_\_\_\_\_ Eメール(PC)： \_\_\_\_\_

電話(携帯)： \_\_\_\_\_ Eメール(携帯)： \_\_\_\_\_

体験希望者から希望市町村へ提出する様式

◆メッセージ記入用紙◆

テーマ： ①インターン事業に期待すること ②地域に対して自分が貢献できそうなこと

氏名： \_\_\_\_\_

① インターン事業に期待すること

②地域に対して自分が貢献できそうなこと（例、得意技、得意テーマ、体力、熱意など）

\*各テーマ400字程度でまとめてください。  
\*できるだけワープロ打ちをお願いします。（貼付又は別紙可）



**連絡先**

国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課

〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3

電話：03-5253-8404 FAX：03-5253-1588

URL：[http://www.mlit.go.jp/crd/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/crd/crd_chisei_tk_000007.html)

